



柏市長選挙の結果

新市長に秋山 浩保氏

11月1日に柏市長選挙が行われました。投票は午前7時～午後8時まで、市内72ヶ所の投票所で一斉に行われ、午後9時15分から中央体育館で即日開票されました。

その結果、秋山浩保氏(41歳)が57,258票を獲得し、今後の柏市政を担うことになりました。任期は平成21年11月21日～平成25年11月20日までの4年間です。

今回の市長選挙は、任期満了に伴うもので、10月25日に告示され、秋山浩保(経営コンサルタント)、海老原久恵(前柏市議会議員)、坂巻重男(前柏市議会議員)の各氏が立候補していました。

なお、開票の結果は次のとおりです。

☎ 選挙管理委員会事務局 ☎7167-1092

開票結果(敬称略)

秋山 浩保(無所属)	57,258票
海老原 久恵(無所属)	36,255票
坂巻 重男(無所属)	13,219票

- 投票率 …… 34.14%
- 当日有権者数 …… 316,876人
 - 男 …… 157,629人
 - 女 …… 159,247人

主な改良工事の内容

市政モニターアンケートなどの結果で意見の多かった、バリアフリー対策やダブルデッキ上に屋根を設置してほしいと言った意見を参考にして

- ①ダブルデッキの表面を雨水の排水に優れた構造の床に変更すること
- ②サンサン通り側へエスカレーター(上り下り各1基)を新設すること
- ③駅出入口から駅前通りのエスカレーターまで屋根を設置すること
- ④デッキ上部と下部の照明を整備すること
- ⑤開口部の一部を埋めて増床することなどを行います。

また、景観への配慮として柏市景観アドバイザー会議の意見を取り入れ、床は落ち着いた桜御影石を基調とした舗装デザインやシンプルで視線と陽光の透過性に優れたガラス高欄(手すり)としています。

歩きやすい空間に

今回の改良工事は、利用者の安全を確保することや、機能回復を図るとともに、既存のデッキの柱、梁(はり)などを活かした施設の軽量化を優先とした耐震性の向上、利便性や景観性に配慮した改良を行うものです。

駅を中心に展開するダブルデッキの安全対策やバリアフリー機能の向上を図ることで、子どもからお年寄りまであらゆる世代の人たちが安全に安心して歩行できる空間を整備します。

また、ストリートミュージシャンを初めとする多くの市民の活動の場ともなっているダブルデッキを改良することで、活気にあふれ、賑わいに満ちたまちづくりにつながることも期待されています。

駅にはバスや電車のご利用を
工事期間中は、普段利用している道路や階段などが一時的に通れなくなります。工事は、ダブル

ダブルデッキを改良
市では、来年1月～平成24年3月までの約二年間に歩行者専用高上式広場(通称:ダブルデッキ)改良工事を行います。
昭和48年に柏駅の東口に日本で初めて造られたダブルデッキは、完成してから35年が経過し、最近では劣化による歩行面のでこぼこや水溜り、コンクリートのはがれ落ちなどが進んでおり、デッキの安全性や機能低下が心配されています。
この改良工事は、バリアフリーに配慮し、より歩きやすく、イベントなどを行うときには、華やかな演出を受け入れられる清らかな空間として整備します。

デッキ全体を細かくいくつかの工事区域に分けて、工事する範囲を目隠し板などで仕切り、歩行できる場所と工事している場所を明確にして、昼間の工事を基本とした工事をを行います。誘導員や案内看板に従い通行してください。
また、工事を行うためには、大

規模な交通規制が必要になり、駅周辺が渋滞することが予想されます。工事期間中の駅のご利用は、できるだけバスや電車などの利用をお願いします。
4 ☎ 道路整備課 ☎7167-134

柏駅前東口が変わります
改良工事にご理解とご協力を

柏の
玄関口を
改修!



改修後のイメージ図